



# 学校だより

横浜市立六つ川台小学校

7月号

令和3年6月30日

URL:<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadae/>

E-mail: [ky-e-mutsukawadae@city.yokohama.jp](mailto:ky-e-mutsukawadae@city.yokohama.jp)

## どっちが正しいの？ どっちも正しい！

こう ちょう ほん ま あきら  
校 長 本 間 明

同じ人でも違う言葉を使う時があります。

「声出して！」

「声出さない！」

今のように感染症が広まる前は、例えばスポーツの試合で選手を応援する時にはみんなで大きな声を出していました。

応援団が「もっと声出してー！」などと観客に呼びかけ、いっせいに大きな声援を送ったものです。

今はどうでしょう。スポーツの試合観戦は「声を出さない」で行うことになっています。心の中で声援を送り、音の出る活動としては拍手を送る。

変わりましたね。

では、これ、どっちが正しいのでしょうか？ どっちも正しいです。時期、場所、相手によって、反対のことを言う場合がありますが、状況に合っていればどっちも正しいのです。

感染症が収まれば、またみんなが元気に声を出して応援するようになることでしょう。

「限界を超えろ」

もっと伸びるために、上達のために、口にあることがある言葉です。

六つ川台小では2年ぶりに水泳学習が始まりました。ある人は今は3 m 泳ぐのが限界かもしれません。そんな人も今の自分の限界を超えるつもりで努力すると、次は4 m 泳げるようになるでしょう。

「限界を超える」という気持ちで頑張ることは正しいのです。

「限界を超えるな」

安全を保障するために大切なことです。

たとえば道路の速度制限は安全のためにあります。食物の消費期限も安全のためにあります。今の世の中の様々な制限も生命と健康を守るためにあります。限界を超えたら危険ですね。「限界を超えない」こともまた正しいのです。

児童の皆さんも先生から反対のことを言われることがあるかもしれません。

たとえば、「ゆっくりやりなさい」と「いそいでやりなさい」

どっちが正しいのと思ったかもしれませんが、どっちも正しいんですね。状況によって言うことは変わることがあるんです。

もし、みなさんが判断に迷ったら……？ どっちも正しいそうだったら、あとは自分にとっていい感じのほう、楽しそうなほうを選んでおけば、きっと間違いありませんよ。